

ふるさと きよ屋



南砺市じょうはな

2017

ふるさと参考書

ひふき 火吹き

燃焼（燃える）するためには3つの大事なものがあります。それは、「燃える物（燃焼物）」「空気（酸素）」「火だね（点火源）」の3つで、この3つがそろわないと燃えません。火吹きはその3つの中の酸素を送るためにすることで、昔は「火吹き竹」と呼ばれるものを使っていました。

今はライターやマッチを使って火がかんたんに点けられるようになりましたが、むかしは火だねを消さず、毎朝火をかきおこして吹きつけるのがお母さんの重要な役目であり、このため火吹き竹はとてだいに道具でした。



ひふき だけ 火吹き竹



吹いて火をおこす道具。「火吹」「吹筒」「火くた」「吹き火筒」「たけ火筒」などとも書き、ヒフキ、ヒフキダケ、ヒフキツツなどとよんでいました。竹筒の一方の端の節を残して、2尺（約60センチメートル）の長さに切り、その節に小さな穴をあけて、息が強く吹き出るようにしたものです。以前は、全国どこの家庭でも、火をおこすときに使っていました。

まめちしき 豆知識

みなさん、『ひょっこ』って聞いたことがありますか？『ひょっこのお面』といったほうがわかりやすいでしょうか。口をすぼめた面白い顔をしていますよね。一説ですが、『ひょっこ』は竹筒（火吹き竹）でかまどの火を吹く男、「火男」がなまったとも言われています。



こうし じょうはなまきえ だいめ
講師 城端時絵 16代目
おはら よしとせんせい
小原好喬先生



こくないがい こうえん
国内外での講演やプレゼンテーションに登壇する。

あづちももやまじだい てんしょう ねん
安土桃山時代・天正3年(1575)よ

りー子相伝で続く『城端時絵』の16

だいめ だいだい おはら じごう えもん な しゅうめい じょうはな
代目。代々、小原治五右衛門の名を襲名し、城端
まきえ せいざく ひきやま いおりやたい しゅうふく じゅうじ
時絵の制作、曳山・庵屋台などの修復にも従事

する。国内はもとより海外での展示依頼も多く、

アジア ウィーク ニューヨーク 『Asia Week New York 2016』では日本の32

人に選ばれる。また、近年は TEDx Himi など、

こくないがい こうえん
国内外での講演やプレゼンテーションに登壇する。

じょうはなまきえ
【城端時絵について】

まきえ うるし つか え えが うるし かた
時絵は、漆を使って絵を描いて、その漆が固まらないうちに、
きん ぎん こな ま つ え あらわ にほん う わざ
金や銀の粉を蒔き付けて絵を表す日本で生まれた技です。

じょうはなまきえ まきえ きん ぎん しろいろ ちゅうしん うるし
城端時絵は、時絵の金や銀だけではなく、白色を中心に漆で
いろ つか え えが
たくさんの色を使って絵を描くことができます。

じょうはなまきえ あづちももやまじだい ねんいじょう いま おはら け つづ
城端時絵は、安土桃山時代から440年以上、今も小原家で続
いています。

うるし うるし き と じゅえき とりょう おうさま い じょうはな
漆は漆の木から採れた樹液で、塗料の王様とも言われ、城端
ひきやま くろ ぶぶん あか しゅ ぶぶん うるし
の曳山の黒い部分や赤い朱の部分なども漆です。



じょうはなしんめいぐうしゅんきたいさい

【城端神明宮春季大祭について】

じょうはなしんめいぐうしゅんきたいさい
じょうはなしんめいぐう はる まつり えどじだいちゅうき
城端曳山祭は、城端神明宮の春のお祭で、江戸時代中期には
じまりました。

かすがぐう はちまんぐう しんめいぐう みこし せんだう ししまい わる
春日宮・八幡宮・神明宮の神輿を先導して、「獅子舞」、悪
い邪鬼を払う「劔鉾」、神様を天からお招きする「傘鉾」や
「四神旗」などが行列し、庵屋台と曳山が神輿にお供して町を巡
ります。

みこし ひきやま とも ひきやままつり いま やく
神輿に曳山がお供して、曳山祭がはじまったのは今から約
300年前の享保9年(1724)です。明治5年(1872)までは
ひきやま じゅんばん まいとしおな こ ひきやま じゅんばん まいとしか
曳山の順番が毎年同じでしたが、その後、曳山の順番も毎年変
わるようになりました。

かみさま はや おそ に さ どうじ
神様を躰して、恐ろしいものに逃げ去ってもらうと同時に、
まち ひと まつり たの よろこ わ あ むかし
町の人たちが祭を楽しむことで喜びを分かち合うという、昔か
らの行列と行事を今も大切にしています。

じょうはなしんめいぐうしゅんきたいさい し かえ やま じょうはなしん いちねん
城端曳山祭を締めくくる「帰り山」では、城端人が一年の
きぼう かんしゃ こ ひきやま じゅん はんてん かみさま まち
希望と感謝を込めて、曳山が順に反転し、神様がそれぞれの町
へと帰っていきます。そして、城端の一年が始まります。



すいげつこうえん じょうはなじん
【水月公園と城端人】

すいげつじ そうとうしゅう てら
水月寺は「曹洞宗」のお寺
すがわらみちぎねこう まつ
ですが、菅原道真公を祀るこ
すいげつあんてんまんぐう よ
とから、「水月庵天満宮」と呼
きぬおりもの まも がみ
ばれ、絹織物の守り神として
うやま
も敬われています。



すいげつこうえん おはらじごえもん あらきわすけ ひきやま
水月公園には、小原治五右衛門や荒木和助など、曳山や
いおりやたい つく ひと せきひ ひきやまつり
庵屋台を作った人たちの石碑がそれぞれにあり、曳山祭では
じょうはなべつじんぜんとくじまえ ぎょうれつ さいしよ すいげつこうえん む
城端別院善徳寺前から行列が最初に水月公園へ向かいます。

わたし く じょうはな れきし ひきやま つく ひと かんしゃ
私たちが暮らす城端の歴史や曳山を作った人たちへの感謝の
きも おや こ こ まご つな
気持ちを、親から子へ、子から孫へ繋げていきます。



ひきやま
【曳山について】

城端^{じょうはな}には6台^{だい}(6ヶ町^{かちょう})
の曳山^{ひきやま}があります。城端^{じょうはな}
の曳山^{ひきやま}は、曳山^{ひきやま}・庵屋台^{いおりやたい}・
傘鉾^{かさぼこ}の三つ^{みつ}が一組^{ひとくみ}になっ
ている点^{てん}が全国的^{ぜんこくてき}にも珍^{めづら}
しいです。

また、曳山^{ひきやま}が動くとき
に車輪^{しゃりん}から「ギュ〜」と
いう音^{おと}が出^でます。車輪^{しゃりん}の
真^まん中^{なか}に丸^{まる}めた薄^{うす}い板^{いた}を

はさむこと^{かくちよう}で、各町^{おと}それぞ
れの音^{おと}が出^でます。よく聞^きくと「グウ〜」や「ジ
ユ〜」と曳山^{ひきやま}それぞ
れに音^{おと}が違^{ちが}います。
神様^{かみさま}がお通^{とお}りになる音^{おと}なので、城端^{じょうはな}
の人^{ひと}たちは親^{した}しみを込^こめて「ギュウ
山^{やま}」と呼^よんでいます。



傘鉾 かさぼこ

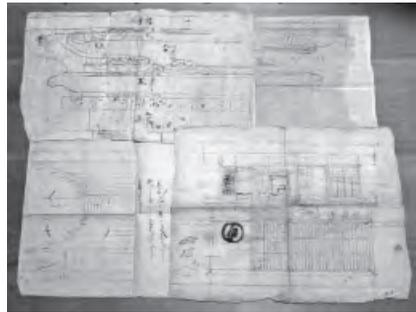
庵屋台 いおりやたい

曳山 ひきやま



いおりやたい
【庵屋台について】

ぶんかぶんせいき (1804-1830) にはいおりやたい
文化文政期 (1804-1830) には庵屋台がつくられました。
いおりやたい えど しんよしわら ぎおん いちりきちやや しまばら すみや
庵屋台は、江戸の新吉原・祇園の一力茶屋・島原の角屋など
も つく せいみつ もけい いおりやたい なか かくちょう わかれんじゅう
を模して作った精密な模型です。庵屋台の中では各町の若連中
いおりうた えんぞう
が「庵唄」を演奏します。
いおりやたい つく じっさい ぼしよ い ずめん えが
庵屋台を作るときに、実際にその場所へ行き、図面を描きま
ひきやま いおりやたい かず いま おほらけ
した。曳山や庵屋台の下図が今でも小原家にあります。



かさぼこ
【傘鉾について】

ひきやままつり ひきやま いおりやたい ちゅうもく じょうはな まつり
曳山祭では曳山や庵屋台が注目されますが、城端のお祭は
かさぼこ はじ
傘鉾が始まりです。
いま かさぼこ ひきやま いおりやたい はな みこし せんどう まち めぐ
今でも傘鉾は曳山・庵屋台とは離れ、神輿を先導して町を巡
ります。
かさぼこ ぜんぶ ほん かちょう かしや うえ かくちょう
傘鉾は全部で8本(8ヶ町)あり、それぞれ傘の上に各町そ
れぞれのかざ かざりもの かくちょう ひきやま なまえ かさぼこ
の飾り(粧物)がついており、各町の曳山の名前は傘鉾
かざ かんけい
の飾りと関係があります。

じょうはなひきやまかいかん ちゅうがくせいいか むりょう けんがく
城端曳山会館は、中学生以下は無料で見学できます。
きょう おもしろ おも み い
今日のはなしを面白いなと思っただらぜひ見に行ってみよう！
まつ いま し こと
ひきやま祭りの今まで知らなかった事がたくさんあるかも！！

【ぎゅうやまをよく見てみよう】

かみさま よいまつり ざしき ほんまつり
神様は宵祭にはお座敷に、本祭には
ひきやま あが よいまつり ほんまつり かみさま
曳山へ上られます。宵祭と本祭の神様の
ひょうじょう かわ
表情が変わります。

ひきやま あが かみさま えがお
曳山に上られると神様が笑顔に？



せま みち とお やね お あ つく
狭い道を通るために屋根が折り上がるように作られています。
これを見ると、曳山は昔から狭い道を通っていたことがわかり
ますね。



ひきやま いおりやたい ぬ うるし
曳山や庵屋台に塗られている漆は、
みが なお ぬ なお
磨き直したり、塗り直すことで、ずっ
ひか つづ じだい かみさま
と光り続けます。いつの時代も神様に
みまも じょうはな ひと ちから
見守られながら、城端の人たちが力を
あ たす あ いま じょうはなひきやままつり
合わせて助け合い、今の城端曳山祭が
あります。私たち城端人は、この行事
をこれからも城端の宝として、ずっと
つづ つづ
続けていきます。



えんそう
演奏

ポッケ

とやママおんがくたい Pokke



えんそうきょく

【演奏曲】

① 「マーチこきりこ」

がつきしょうかい やま おんがくか

② 楽器紹介「山の音楽家」

③ 「ディズニープリンセスメドレー」

しきしゃたいけん

④ 指揮者体験「アンパンマンのマーチ」「星条旗よ永遠なれ」

せいじょうき えいえん

⑤ 「麦屋節」

むぎやぶし

【とやママおんがくたい Pokke とは?】

『とやママおんがくたい Pokke』は、子どもたちと一緒に活動できるたのしい吹奏楽団を作ろう！というところから富山県内のママさんが中心となって結成しました。楽器を演奏している姿を子どもたちにもみせてあげたい、子どもたちにも音楽を大好きになってもらいたいなど、いろいろな思いをもって活動しています。また、子育てについて情報交換や相談をしあえる場所にもなっています。

Pokkeで演奏する曲は親子で楽しめる曲が中心です。楽器紹介や音遊びなどをいれながら子どもたちが楽しく「音楽」にふれることができるように工夫していて、主に保育園や地域行事などで演奏したり、コンサートを開いたりしています。

すいそうがく
【吹奏楽ってなあに？】

吹奏楽とは文字の通り「吹」いて演「奏」する「楽」器に打楽器を加えた形態の事です。たくさん集まって演奏するオーケストラという形態がありますが、オーケストラにはバイオリンやチェロなど弦楽器が含まれています。吹奏楽で使われる楽器は主に3つに分けられ、木管楽器<フルート、クラリネット、サクソなど>、金管楽器<トランペット、ホルン、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ>、打楽器<スネア、バスドラム、シンバル、シロフォン（木琴）、グロッケン（鉄琴）、ドラムセットなど>があります。さらに、コントラバス、ハープ、ピアノなどが一緒に演奏することもあります。よく吹奏楽＝ブラスバンドと言われることがありますが、ブラスバンドは金管楽器だけで編成される形態なので少し違います。

しきしや
【指揮者ってなんのためにいるの？】

演奏しているたくさんの方の前で、一人で棒を振っている人を見たことがあると思います。この人のことを「指揮者」といいます。少ない人数で演奏するときはいなくても大丈夫だったのですが、時代とともに人数が多くなってくると、まとめるために指揮者が必要となってきました。指揮なんて私でもできそう！誰がやっても同じじゃないの？と思われることがよくありますがそんなことはありません。演奏しているバンドが同じでも、指揮が違えば演奏が全然違ってきます。演奏するスピード、拍子、音楽の表現などの細かいことを「タクト」と呼ばれる棒1本で指示しているのです。全員が指揮者の動きを見ながら演奏することで息の合った演奏ができます。



こうし こにし まきこ せんせい
講師 小西 牧子 先生



せい が く か か し ゅ
声楽家ソプラノ 歌手。
いしかわけんかなざわしざいじゆう そうそふ じょうはな
石川県金沢市在住。曾祖父は城端ゆか

ぶんかじん のむらまんかじょう
りの文化人、野村満花城（1888～1959）。

いしかわけんりつかなざわつみがおか こうとうがっこう
石川県立金沢辰巳丘高等学校を

へ くにたち おんがくだいがく せい が く が っ か
経て、国立音楽大学声楽学科、
しょうわおんがくだいがくだいがくいん せんこうしゅうりょう
昭和音楽大学大学院オペラ専攻修了、

ドン・ゼンハウザーおんがくいんそつぎょう
音楽院卒業。

えんそう おの さおり
ピアノ演奏は 小野 紗織さん。



きょく もく
《 曲 目 》

- ◇この道 みち ◇赤とんぼ あか ◇ノクターン作品9-2 (ショパン) さくひん
- ◇イタリア歌曲より『いとしい女』『禁じられた音楽』 かきょく ひと きん おんがく
- ◇城端祭 じょうはなまつり ◇ふるさと えんそうきょく ◇ピアノ演奏2曲 ほか

そうそふ のむらまんかじょう そくせき
《 曾祖父・野村満花城の足跡 》

1888 (明治21) 年、城端町の素封家・野村理兵衛の三男として生まれる。名は淳。満花城、満花山人、満花人とも号した。

1904 (明治37) 年ころから句作をはじめ、絵画・工芸などの勉強にも努めた。その後も書・陶芸・茶道・骨董・雅楽・囲碁・郷土史など、極めて多彩な分野において幅広く活躍した。有名な文化人や作家、芸術家との交流も多く、城端に当時の最先端の文化をもたらした。また城端町文化財保護委員の組織発足や町史編纂にも携わるなど、率先して城端の郷土史を牽引し、まさに地方文化活動のリーダーとも言える存在であった。旧野村邸跡地(城端曳山会館横)に「野村満花城生誕之地」と書かれた記念碑が建立されている。

ひきやままつり うた じょうはなまつり
じょうはな曳山祭の歌 「城端祭」 を
うた
みんなで歌おう!!

じょうはなまつり
城端祭

のむらつまんかじょう
野村満花城 作詞 さくし

一、春の名残か 名物祭
はる なごり めいぶつまつり

か節 曳山々々 夜街に映えて
かぶね やまやま よまち

今日は嬉しや宵祭
きょう うれ よいまつり

来よ友よ 人は待たむ
こども ひと まち

明日は晴れるよ 城端祭
あす は じょうはなまつり

二、みごし鉾傘庵や 曳山や
きり はなさ やま

桐の花咲く 町々巡り
きり はなさ まちまちめぐ

嗚呼ゆかしや 篠笛の音色
ああ ゆかしや しのぶのねいろ

唄に三絃に もつれ鳴くよ
うた いと もつれ なる

春の名残か 城端祭
はる なごり じょうはなまつり

三、夜 夜 曳山 戻りの庵
よる ひきやま もどりのいほり

つるす提灯 ゆれゆれゆれて
つるす ちようちん ゆれゆれゆれて

帰る 流しゆく
かえり ばやし ながしゆく

いつまでも 耳に聞こゆ
いつまでも みみ きこゆ

春を惜むよ 城端祭
はるをおし じょうはなまつり

中川 秋羅 作曲

Moderato

はみよ るごる のしの なほひ ごこき りがや かさま めいも いおど ぶりり つやの まやい つまお ー ー りやり かきつ さりる るのす やはち まなう やまぢん

よまゆ まちれ ちまゆ にちれ はめゆ えぐれ てりて きよあか うーえ はあり うゆほ れかや ししれ やまよ いのが 一の二 まねし ついゆ ー ー

りろく ー ー こうい よたつ ー 一に ー といま もとで ー 一に よにも ひもみ はれに まなき たくこ 呑よゆ あはは

するる ー ー はのを はなお れごし るりむ ー 一に よかよ じょう は な ー まつ ー り

こうし 講師 林道美有紀先生

じょうはなしゆっしん かしゆ
城端出身の歌手・
なんとしかんこうたいし
南砺市観光大使。



みんながよく知っている南砺市の歌「緑の里から」のCDは林道先生が歌っています。

民謡が大好きで、小学3年生から民謡を習い、最年少チャンピオンにもなりました。今はギターやドラム、シンセサイザーなどいろいろな楽器と、いっしょに、民謡のすばらしさを広めるために、全国で歌手活動をしています。

《 むぎや節 》

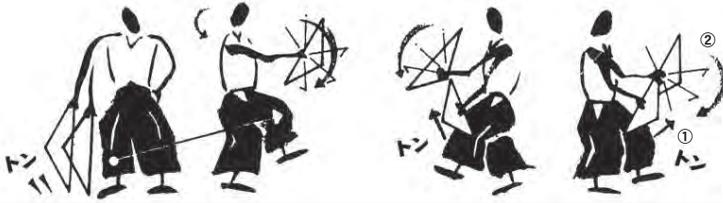
『城端 むぎや祭』でみんなが知っている「むぎや節」は、「源平の戦い」に負け五箇山に逃れた平家の落人から唄い継がれたと言われています。

70年ほど前に城端の若者たちが五箇山へ習いに行き、昭和26年に城端の新町で練習の成果を発表しました。すると他の町も次々と参加するようになり、これが現在の「城端むぎや祭」の始まりとなりました。

むぎや節 【歌詞】

麦や菜種は二年で刈るが
 麻が刈らりよか半土用に
 浪の屋島を遠くのがれ来て
 薪こるてふ深山辺に
 烏帽子狩衣脱ぎうちすてて
 今は越路の柚屋かな
 心淋しや落ち行くみちは
 川の鳴瀬と鹿の声
 川の鳴瀬に布機たてて
 波に織らせて岩に着しよう
 鮎は瀬につく鳥は木に止まる
 人は情の下に住む

ぶし おど
《むぎや節 かさ踊り》



むぎ

や

な—たねは

オйнаアに

かるくヒザをおって
ゆかを三つたたく。
うたに入って、
むぎやの「ぎ」で
左 45°へ、サッと
立ちあがる。

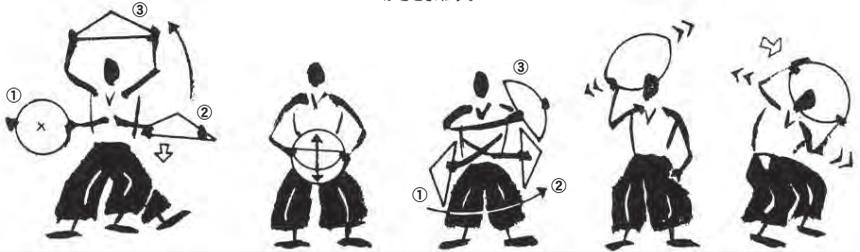
ウデをのばして
かさをいったん止め、
外がわからかさを
一回転する。
(かさのまわしかたは
以下おなじ)

るがアー

アイナアー

右 45°へむき直り、
ヒザの上にかさを
トンとおいたあと
ウデをのばして
かさをまわす。

足のむきを直し、
左 45°の方向で
同じことをくりかえす。



㊦① イーね

ん

—ん

んな

ど

オ

—

㊦① でオйнаアー

か

下になる手はまっすぐ、
上の手は肩の線。

左手をコシにおき
かさを止めてキメる。

左 45°へ向き
左ヒザをおり、
右足をかるく
上げる。

㊦② あーさがー

ら

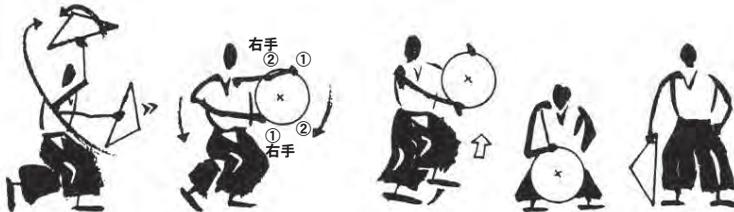
㊦③はゆっくり右手で。

㊦② りよかオйнаアー

は

左直角にむき①②③の順に、かっこ
よくおこなう。(右むきの時も同じで、
足のけるむきは、つねに客席にむけて)

正面をむき直り、さっと
ウデをのばし、かさをいっ
たん止めたあとまわす。



オ

オ

よ

—に

ナ

—

—

右手を前にして
かさを頭のうしろを
まわしながら
前へ二回転。

左直角を向いてしゃがみ、
かさを一回転したあと
①の円周回転し、
②で裏を見せる。

そのまま立って、またすわる。
正面を向いてかさを表むける。

すくっと立つと
きまります。

ば やしき やみこう
お化け屋敷 《闇講 2017》 ストーリー

100年あまりまえ、石川県の
お城から3歳という若さで城端の
善徳寺にお坊さんにこられた方がい
ました。加賀のお殿様のお子様で、
名前を「すけまる」といいます。「す
けまる」はまだおさなく、母上から
もらった木馬で遊ぶのが大好きなかわいい子供でした。



「すけまる」は善徳寺に来てから、とて
もまじめに修行にはげんでいました。そ
して、いっしょうけんめい修行した「すけ
まる」には、「悪霊」を追いはらせるふし
ぎな力がそなわったのです。

「すけまる」はふしぎな力を使って、
城端の町を「悪霊」からすくうというだい
かつやくをしました！いつしか、城端のみ
んなからかわいがられていた「すけまる」
は、「すけまる様」とそんけいして呼ばれ
るようになりました。



しかし、その年の冬、「すけまる様」は重
い病気にかかり亡くなってしまいました…。
城端のみんなはとても悲しみ、町全体が悲
しい気持ちにつつまれました…。そんな悲し
い気持ちが「悪霊」を呼びよせ、城端の町に
「悪霊」がいっぱいあらわれました。

でも、「悪霊」を追いはらえる「すけまる様」はもういません…。城端のみんなはととても困ってしまいました。

そんな時、「すけまる様」が使っていた木馬がふしぎな力で動き出し、城端の町を駆けまわって「悪霊」を追いはらってく



れました。城端のみんなは「すけまる様の木馬」を町の宝物にしました。100年たった今でも、善徳寺には「すけまる様の木馬」がたいせつにほかんされています。



しかし、「すけまる様の木馬」にはちかごろきみょうなうわさが…。なんと、「悪霊」たちがふたたびあらわれ、ふしぎな力がやどった「すけまる様の木馬」の片目をうばってしまったというのです！

片目をうばわれた「すけまる様の木馬」のふしぎな力は弱まり、「悪霊」を追いはらうことができません…

「カタカタ… コトコト… コツコツ…」片目になってしまった「すけまる様の木馬」は、夜になるとうばわれた片目をさがして善徳寺の中を歩きまわるといのです…

《やみこう 闇講 2017 ミッション》

悪霊にうばわれた木馬の片目をとり返し、「すけまる様の木馬」にふしぎな力をとり戻そう！

みんなの勇気がひつようだ！！

【善徳寺にのこる伝説 すけまる様の木馬】

江戸時代のおわりごろ、加賀の前田のお殿様の息子、すけまる様が、わずか3歳で城端の善徳寺の住職としていらっしやいました。

城端の人たちは、小さな手を合わせて仏様を拜む、すけまる様のお姿を見ては「お母様とはなれて遠い城端まで来て、こんな小さいのによくおつとめなされる。」とすけまる様を拜んでいました。

ところが、すけまる様はとつぜんの病気でおなくなりになってしまいました。町の人々はいっぺんにさみしくなってしまい悲しみました。ていねいにおとむらいの式をあげました。

その夜から、善徳寺のみ堂でともっていた灯明が消え、お坊様たちがお休みになる頃になると・・・カタカタ、コトコト、コツコツ・・・み堂につづく廊下から、遠く離れた、近くなったりする音が聞こえるようになりました。

お寺の人たちは不思議がりながらも「あれは、すけまる様の木馬の歩く音だ。すけまる様の亡くなられたことをしらずに、探し回っているのだ。」と話し合っていました。

町の人たちの間でも、悲しんだり不思議がったり、噂がひろがるようになり、善徳寺のお坊様たちは相談して、ていねいにお経をあげ「もうお前のご主人は、亡くなったのだよ」と言い聞かせ、木馬の片目をくりぬき、それらしい木馬の夜歩きはおさまったといいます。

その木馬は別院のお宝として、今でも大切に保管されており、年に一度、7月の虫干しのときだけ見ることができます。



てらこや
ふるさと寺子屋

しゅっせきひょう

出席表

「ふるさと寺子屋」に参加すると下記にスタンプを押します！

さらに1～3時限目の参加で4時限目のきんけん閻講や縁日で使える金券をプレゼント！

じげんめ かていか
1時限目 家庭科のじかん

ひ
かまどで火おこし



じげんめ れきし
2時限目 歴史のじかん

れきしこうざ
ぎゅうやま歴史講座



じげんめ おんがく
3時限目 音楽のじかん

てらこや
寺子屋コンサート



じげんめ かがいじゅぎょう
4時限目 課外授業

やみこう やしき
閻講 おばけ屋敷



※1～3時限目は各講座終了後に受付にてスタンプを押します。

※4時限目「閻講 おばけ屋敷」は、参加受付の際に整理券と引き換えにスタンプを押します。

ふるさと寺子屋

2017.10.29

「ふるさと寺子屋」に1つ参加するごとに裏面の出席表にスタンプがもらえます！さらに1～3時限目の「ふるさと寺子屋」への参加で、闇講や縁日で使える金券がもらえます！

1時限目 家庭科

13:00～

かまどで
火おこし

善徳寺の台所で

まき割り、火おこし体験！

ふるまい鍋をみんなで食べよう！

参加費
無料

2時限目 歴史

14:30～

ぎゅうやま
れさしこうざ
歴史講座

祝ユネスコ世界遺産登録！

小原好喬先生による

曳山の歴史や秘密講座！

参加費
無料

3時限目 音楽

15:40～

てらこや

寺子屋
コンサート

秋の夕空に響く吹奏楽の音色と歌声♪

とやママおんがくたいPokkeさん

小西牧子先生・林道美有紀先生

参加費
無料

4時限目 課外授業

18:00～

やみこ

闇講
やしき
～おばけ屋敷～

夜になった善徳寺の奥から

悪霊たちのうめき声と

「木馬」が足音が聞こえる…

参加費
300円

ホームページ：www.nssjohana.wixsite.com/hurusato

お問い合わせ：南砺市商工会城端事務所 TEL：0763-62-2163

〒939-1864 富山県南砺市城端648-1

主催：南砺市商工会青年部城端支部

共催：城端地区自治振興会・城端別院善徳寺・なんと彩葉まつり実行委員会・城端ファンクラブ

後援：南砺市 ※南砺市 協働のまちづくりモデル事業採択の事業です。

